

## 東海大学付属望星高等学校

## 同窓会会報

第30号



## 開校五十年目を迎える

校長 細野久一

わが国初のFM放送を使った通信制の高等学校として開校した本校は、今年四月に開校五十年目を迎えます。

「教育の機会均等の理念をより豊かに実現する」学園の創立者松前重義博士の理想、使命感に基づき設立された学校、それが本校です。

勤労青少年の学びの場としての通信制教育は、高校進学率の向上など時代・社会の変化とともに様々な変貌を余儀なくされてきました。現在、通信制高校には、目的や事情に応じて様々な生徒が学んでいます。中には心の痛みを抱えている生徒もいます。特別教育支援を必要とする生徒もいます。目的や事情等はどうであれ、通信制高校に学びの場を求めていることは変わりありません。

その中につつて本校は、東海大学の建学の精神に基づく「望星」の設立理念を守りつつ、時代の変化を常

に先取りした新しい教育体制、一人ひとりに対応した柔軟な学習システムを構築しつつ、教育の原点に立ち、教育の良心に基づく細かな教育を一貫して展開しています。

本校の教育の根底にあるもの、それは学園に流れる「愛」と「正義」の精神です。人は皆、等しく、光輝くものをしていて、その考え方のもうと、人間性を重んじ、個性を引き出すとともにその伸張を図り、人の心のいたみがわかり合える心豊かな人材の育成を教育方針の柱とした教育活動を誠実に実践しています。

私たち教員は、「聞く・一緒に考える・ほめる・励ます」を基本にした指導を心がけています。時には厳しく「叱る」こともあります。これに

徐々に明るくなります。自由には責任を伴うことを自覚しはじめます。見失っていた、心の中に閉じ込めていた自信を取り戻し、過去を語りはじめる生徒もいます。人は皆、常に「はじめての今」を「生きているということに気づき、「今」という時の大切さを知り、前向きに確かな歩みを刻み始めます。「望星」の教育の良さ、財産はここにあります。

私学における通信教育のパイオニアとしての歴史と伝統を有し、「自分で自己実現を図る、それがわが東海大学付属望星高等学校であり、みなさんの母校です。

私学の通信制高校を取り巻く環境は依然として厳しいものがあります。本校の明日にとつて、明るさが見えつつあるとはいえ確かなものではありません。「望星」の誇りであり、元気にご活躍される皆さん、同窓会会員一人ひとりである皆さんが私たちに活力を与えてくれます。今後とも母校へのあたたかな応援、力強い支援をよろしくお願いします。

合わせて、同窓会の充実、発展と会員の皆さんのご健勝を心より祈念いたします。

発行人

下倉良次

東海大学付属望星高等学校同窓会  
東京都渋谷区富ヶ谷2-10-1

Tel 03(3467)8111

平成二十年二月発行

「恐い」と言う話



会長  
下倉良次

今年は北京でオリンピックが開催される。2008年8月8日午後8時開会式。中国では8の数字は縁起がよいとされているので、この時間になつたと言われている。その北京へ5年前に行つてきた。

天安門広場、故宮博物館、万里の長城等そのとてつもないスケールの大きさに驚かされた。街中は自転車の洪水と聞いていたが、車で一杯、タクシーは中古風の小型車で運転席はプラスチックで覆われていた。バスもお世辞にも綺麗とはいえない。しかも車中では話をしないでください、と注意された。北京は治安が悪いんだな、と思つた。

その前年に行つた大連はもう少し安心だつた。大連には満州時代に日本人が建設した、満鉄の本社があり、日本人街もある。特に大連駅は上野駅を模した作りで、眺めていると日本にいるようだ。しかも大連のタクシーにはプラスチックの覆いはなかつた。



加藤忠勝

夢を追い求めて

—努力することの大切さ—

これは現地の人から聞いた話だが、初めて中国のタクシーに乗つた日本人は、一様に「恐い(コワイ)、恐い」というそうだ。この「恐い」が中国語の「快(クワイ)・早く、急げ」と似ているから運転手には「もつと急げ、飛ばせ」と聞こえるので、更にスピードをあげるのだ、と言う。

これから中国を旅する方はご注意を・・・ちなみに「ゆっくり」は「慢(マンダゾウ)ー」(ゆっくり行つてください)と言えば良いそうだ。

一昨年、第八回世界マスターズ柔道選手権大会(平成十八年六月フランス開催、一五〇〇名参加)個人戦で、六十キロ未満、六十五・六四歳の部に出場。オール一本勝ちで「金メダル」を獲得することができました。とは、この年齢と言えども自分自身の誇りです。

「練習で培つた自信と持てる力を發揮すれば結果はおのずとついてくる。」私はいつもそう信じて試合に臨んできました。その考えが今の自分を築いていると言つても決して過言ではありません。

二十九年前(当時三十三歳)に東京都野市に引っ越してきた際、杉並区から一緒に持つてきたグレープフルーツの苗木(種から育てたものです)が、今では庭で毎年

れ、公衆トイレも数多く見られた。これもオリンピックに向けての整備なのだろうか。駅前の路面店も一掃され一部は個店となつていて。

タクシーも綺麗な車が走り、バスは冷房車が走つていた。しかし、タクシーの運転は相変わらず乱暴で、追い越し、割り込みは平気だ。横断歩道は無いにひとしい、車は歩行者を蹴散らして走り、歩行者は車を巧みに縫つて渡つている。

これは現地の人から聞いた話だが、初めて中国のタクシーに乗つた日本人は、一様に「恐い(コワイ)、恐い」というそうだ。

十二歳から始めた柔道の稽古に、公園を通つて杉並警察署の道場まで通つて続けたことは、現在の私の礎となりました。今は生涯のスポーツとして、講道館で週二回練習しています。現在七段です。

一昨年、第八回世界マスターズ柔道選手権大会(平成十八年六月フランス開催、一五〇〇名参加)個人戦で、六十キロ未満、六十五・六四歳の部に出場。オール一本勝ちで「金メダル」を獲得することができました。とは、この年齢と言えども自分自身の誇りです。

最後になりましたが、伝統ある母校、東海大学望星高校の益々の発展と会員各位のご健勝を心よりお祈り申し上げます。私自身も、卒業生として胸を張つて日々の生活を送つていきたいと思います。



私が青春時代を過ごしたふるさとは東京都杉並区です。近くには「妙法寺」という

厄よけ、室内安全などの御利益で信奉されているお寺があります。元和七(一六二二)年に日蓮上人を開山に招いて建立されたお寺です。境内にある鐘楼、梵鐘には「鐘の音は妙法の声、鐘を打てば仏と一つになる」という意味合いの文字が刻まれています。

正面にある日蓮上人像を奉安する立派な祖師堂がとても印象的な所です。小学生の頃、夏休みの宿題を涼しい境内でしたり、隣の公園でキャッチボールをして遊んだりしました

思い出がたくさんつまっています。十二歳から始めた柔道の稽古に、公園を通して杉並警察署の道場まで通つて続けたことは、現在の私の礎となりました。今は生涯のスポーツとして、講道館で週二回練習しています。現在七段です。

現在は、今年十月に秋田県で開催される、第五回日本マスターズ柔道大会に向か、日々頑張っています。この大会は第一回の埼玉大会で金メダルを獲得したものの、三回、四回の大会では銅・銀に甘んじています。金の座を奪還することが、今の私の最大目標です。近くにお住まいの方がいらっしゃいましたら、会場に足を運んでいただければ幸いです。

澤山の実をつけています。持ち主にしか見てもられないのに、見事に実をつけているのを見る度に、人が見ていても何事もモチベーションを持つて努力しなければいけないと教えられているような気がします。人間だって同じです。我々はいついかなる時でも、向上する姿勢を忘れずに生きていかななければいけないのでしょうか。皆さんぜひ、自分が打ち込めるものを探し、目標に向かって精一杯チャレンジしてみて下さい。きっと人生をより良く生きるためにヒントが得られるでしょう。

現在は、今年十月に秋田県で開催される、第五回日本マスターズ柔道大会に向か、日々頑張っています。この大会は第一回の埼玉大会で金メダルを獲得したものの、三回、四回の大会では銅・銀に甘んじています。金の座を奪還することが、今の私の最大目標です。近くにお住まいの方がいらっしゃいましたら、会場に足を運んでいただければ幸いです。

## 文化祭に参加して

綾 部 晃 子

久々に望星高校の文化祭に参加することができたので、報告(?)と言うよりは私が感じた事を書かせていただこうと思います。

私自身、高校を卒業してから「文化祭」に参加するのが久々でしたので、「どんな文化祭になつてゐるのかな?」と、ちょっとウキウキした気持ちで望星高校へと向いました。

学校の中には、お好み焼きや、ベビーカステラ、裏庭にはホットドッグの屋台。出展や出しものでは、写真展や演劇といった定番のものから、フラダンスやお茶会など、通常の生活からは少しけ離れた世界を感じさせてくれるものまで色々あり、とても楽しかったです。在校生たちが一生懸命に企画を考え、練習や準備に取り組んで来たのがわかるものでした。

今回の文化祭は屋台や出しものが多く、食券を購入して見て回っていたのですが、来た時間もゆっくりだったこともあり、様々なものに目移りして迷つていて、どの屋台も売り切れてしまい、楽しみにしていた屋台の料理が食べられなかつたのが、なんとも心残りでなりませんでした。

また、自分が在学中にお世話になつた先生方ともお会いする事ができなかつたのも残念でしたが、久々の文化祭と望星高校ら

高校に到着する前から、なんだかとつても賑やかな雰囲気。だんだんと高校に近づくにつれて、人の数も増えていき、食欲を誘う屋台の食べものの美味しい香。

学校の前に到着すると、楽しそうに屋台

で調理する姿や、話をしている姿、学校の中に入ると沢山の人があつて、ものすごい熱気を感じました。特に、元気で楽しそうな在学していた時の事を思い出しました。そういうれば自分も在学中にクラスの友だちと、みそ田楽の屋台を出す計画をして、前日から仕込みや屋台の準備をしていたな、と懐かしい気持ちになりました。

今年もきっと在校生が力を入れた文化祭を開いてくれると思いますので、是非、卒業生の皆さんも、懐かしい友人たちを誘つて、今年の文化祭に足を運んでみませんか?きっと望星高校に通つていた時の楽しい時間が過ごせるのではないかでしょうか。

しさを満喫することができました。

最後に、平日教育コースと放送教育コース合同での文化祭となり規模も大きくなり多くの人が参加、来客して下さる行事となりました。



# 内木コ一ナ

## 「おめでとう」といつ言葉



名譽校長  
内木文英  
(ないき ふみえ)

誕生日の朝に、その「人生は短い」と言われた松前重義先生の言葉を思い出した。  
「誰でも書けるようなことを書くな。お前に書けないことを書くのだ」

私の文学の師匠と言える方は作家の坪田譲治氏と評論家の古谷綱武氏だが、その古谷さんが、私が苦労して書いたものをくさしてそ

う言ったのだ。

戦後間もなくのことだから、二十一歳の頃

だつたと思つ。それ以後、話す時も書く時も、

他の人と違う自分の言葉を使うように心がけ

るようになつた。

また新しい年がめぐつてくる。年賀状を書

かなければならぬ。「こんなにトシをとつて、

めでたい」と言える気持になれるかな、と考

えたりした。しかし、昔から年配の人にも、

若い人にも、お正月の朝には「おめでとう

」と言うではないか。「めでたい」の「めづ」に

は「愛する」という意味がある。辞書を引いてみると、「めでたし」には「好み愛したい感

じがする」「つるわしい」「結構だ」「立派だ

」「すばらしい」という意味があると書かれてい

る(広辞苑)。

最近、古典と言われる文章を読んだりする

と、昔、若い頃読んだ時と違つ何かを感じた

りする。逃げても隠れても、八十三歳から逃

げ出することはできない。その「老い」と「め

でたさ」とを結びつけてみよう、といつ気持

が生まれた。「おめでとう」という言葉は、む

しろこれから自分のを励ます言葉のよつに思

われる。その気持が年賀状の言葉になつた

だ。

「今年も最善を尽くそう」という言葉を付

け加えながら、年賀状の言葉を書きあげたこ

とを、忘れないようにしようと思つてゐる。

今年の年賀状の、「謹賀新年」の後に、「おめでとう」といつ言葉は、自分を励ます言葉のよつに思われます」と書き記した。

もう十年くらい前のことだから、六十歳台の前半の時代を生きていた頃のことだ。東海大学の創設者である松前重義博士が、「人生は短いな」とつぶやくように言われた。「まだやりたいことがたくさんあるのに」と悔しそうに付け加える。

松前先生に初めてお目にかかった時、それは昭和三十年、私が満三十歳であった時だ。私より「十三歳年長の松前先生は五十三歳であつた。

「今、こんなことを考へていて。富士山の山頂にアンテナを建てて、そこからまだ日本では開発されていない超短波放送(今のFM放送のことだ)の電波を流す。その技術開発を東海大学が行つ。その電波に教育をのせたい」

それから三年経過してFM東海が生まれる。そしてその翌年、昭和三十四年四月に望星高校の前身である東海大学付属高校通信教育部が誕生する。私の人生がその教育の中に埋没する。

「人生は短い」とつぶやかれた時の松前先生の年齢は、八十五歳頃ではなかつたろうか。昨年八月に私は満八十三歳になつたが、その

「今年も最善を尽くそう」といつ言葉を付けて、忘れないようにしようと思つてゐる。

まず浦安高校にて、連合同窓会総会の活動報告・会計報告・各校の近況報告等をうけて無事終了する。これより五十周年記念講演会を松前記念館第一アリーナにて関係者・在校生・一般市民にまで開放し柔道の山下康裕氏の「人生の金メダルをめざして」のタイトルで含蓄のある話を聞き、私の金メダルはなんだろうと考えさせられた。又、記念式典を4号館講堂に於いて、立ち上げから関わられ浦安高校の初代校長でもある内木文英先生の著書で「かつてこの地は海であった」の名言誕生秘話を内木節で聞き、改めて当時の夢に向かい困難を乗り越え邁進する熱い思いを強く感じた。さらに祝賀会を東京ベイホテル東急に移して多数のご来賓をお迎えし、一年ぶりに会う他校の仲間、美酒とショータイム等盛大に行われとても楽しいひとときだつた。

浦安高校同窓会では五十周年記念スタッフジャンパーにロゴまで新調されるほどの気の入れようであった。紙面の都合上、詳細なる報告は割愛したが、浦安校皆様の接待に深謝するとともに、東海愛校精神を改めて感じる一日であつた。



第四十五回 同窓会の御案内

風薫る五月、今年もわが母校  
へ大集合！

久しぶりに登校してみませんか？気分はもう高校生。懐かしい先生や仲間たちの顔。そして、ちょっとドキドキのあの人の笑顔。ちょっとびりのお酒、あつと驚く景品、沢山の思い出をお持ち帰り下さい。

尚、ご出席できない方は同封ハガキにて近況をお知らせ下さい。

同窓会総会・懇親会報告



廣韻指掌

鈴木広和

望星高校にて第四四回同窓会総会・懇親会が二〇〇七年五月二八日に開催されました。

決定足数は定められていない為、出席者の多数決で承認される。下倉会長の挨拶並びに活動報告、担当者による決算報告、会計監査が

方議され、續いて今年度の活動予定、予算案・執行部役員・その他の議案も問題なく承

認された。下倉会長は同窓会役員の世代交代を考えている為、次期会長を視野に入れた同

窓会役員選出になつてきている。従つて同窓会としては、同窓生及び各同窓会役員の皆様

が進んで出席される事を切望しています。本年度の懇親会は、東海大学工学部（代々木キ

ヤンバス) の4号館2階食堂で、細野久一校

初から予定していた大学の食堂で、落ち着いた

た雰囲気の中で開催された。同窓生や先生方からの笑い声が良く聞こえた。今年は変化を

付けて昨年のダーツゲームから、bingoになつた。ゲームは笑ひを伴ひながら和やかに進

んだ。

同窓会は年々出席者が減少傾向にある。卒業生の同窓会への帰属意識は、在学生の時に

望星高校での様な体験や経験をしたかによるものが大きいと考えられる。皆さんは入学から卒業に至る過程までどの様な事を得る事が出来ましたか？勿論学習はそうですが、高校生活という限られた年月の中で、友情を育む事も忘れないでいて欲しいのです。自分自身の歴史を振り返ったときに、高校生活の思い出は良い事も嫌だった事もあると思います。しかし歴史家の「E・H・カ」が言いますように「歴史とは現在と過去との対話である」というに「歴史とは現在と過去との対話である」といえますが、一生涯での大切な思い出として残っている人格は過去の高校生活の中にも影響があるはずです。自己の探求は尽きないものだと言われます。だとすれば現在の自己を形成している人格は過去の高校生活の中にも影響があるはずです。思い出と言う宝物を探しに望星高校を訪ねて見ては如何ですか。

ことが重要だと言えます。従つて、学校は教育的でありうる存在です。こうした純粹教育に徹している事が本来の教育だと考えられます。教育によって人間性が豊かになると思します。先日雑誌でピアニストの『アシュケナージ』の記事を読みました。彼は、「世界の未来は若い人たちにかかる。その成長をないがしろにしてはいけない。ひとつのイデオロギーしか許されないような狭い社会で子供を育てては絶対にいけないので。個の尊厳、個の本質を大切にし、自分の存在意義を自由に味わえる環境づくりが必須です。」と述べています。こうした事も人間性を豊かにする要素だと思います。学校教育基本法第六条二項では、教員を全体の奉仕者と規定している。その意は、特定一部の者に奉仕する者ではないと解釈できる。その教員と教育を受ける者が一体となつた時に調和を見出す事が出来て、人間性を豊かにすることが更に加速すると思います。『ベートーヴェン』の『交響曲第9番』の曲からは人類愛の思想が感じられます。戦争は醜いものです。それに対する平和は美しく、争いはありません。

この時代の日本はある方向に傾きつつあります。管理される社会で皆様は幸せや希望を見出す事が出来ると思いますが、大学や専門学校、会社、家庭で嫌な思いはしていませんか? 虐められたり、人生に挫折感を感じていることはありませんか? 昔、お互いに感情を共に体験した友人は、かけがえの無い大切な存在だと思います。何でも辛い事は我慢せず打ち明けられる友人と過ごす時間はとても心地よいと思います。その望星高校は運命の門を開いてくれた学校ではないですか?

望星高校で学んだ基礎教育と知的好奇心をもう一度思い出して下さい。希望を持つてい人は、必ず温かい光が与えられるし何事も成功をつかむ事が出来ると思います。

望星高校で学んだ、人を思いやる気持ちと純粹な気持ちを忘れないで下さい。卒業生の皆様、学校、同窓会一同ご出席を心よりお待ち致しております。

これは同窓会のプロパガンダでは無い。

## 望星便り

「同窓会会報」の恒例になりつあり、先生方の話から始めたいと思います。

まず、さわやかな風を運んでくれた先生方から紹介します。付属浦安高校から片岡睦武先生(数学)、付属高輪台高校から神田秀樹先生(国語)が来られました。一方で、望星高校から、細川洋先生(地歴公民)が付属相模中学へ、新津雅仁先生(数学)は、付属第三高校へ、そして加藤利彦先生(数学)は、付属相模高校

へと異動されていました。昨年から、デンマーク校に出向に行かれている植木豊秀先生(地歴公民)・安尾裕子先生(養護)は、今年度も変更なしです。なお、デンマーク校は、今年度二十年という長い歴史に幕を閉じるそうです。付属第二高校から研修で来られていました

凌三郎先生(理科)は、東京校での二年間の研修を終えられて戻られました。全日制では、会うことのできない生徒とたくさん出会えたと思います。また、通信制の学校がどんなところかもきっと学べたと思われます。望星高校で体験できることをぜひ、付属第二高校でも活かしてください。

学校は、人の入れ替わりはありますが校舎はいつもの場所にあります。しかし、中身のほうは少し変化があります。その変化は、e-learningを使い始めたことがあげられる。すでにいくつかの教科で始まっています。来年度はさらに増える予定です。次号で詳しく述べたいと思います。

毎年十二月末日までに同窓会事務局までお願い致します。

言  
ト  
原稿募集

◎平山義男殿(七期)  
二〇〇七年八月六日逝去されました。  
◎横山美都雄殿(十三期A)  
二〇〇七年六月二十二日逝去されました。  
ご冥福をお祈りします。

## 平成18年度 決算報告

東海大学付属望星高等学校同窓会

平成19年5月27日

収入		支出	
前期繰越金	5, 290, 876円	連合関係費	189, 300円
新会員入会金	1, 349, 000	生徒会関係費	20, 000
新会員年会費	427, 000	通信費	557, 156
総会時年会費	19, 000	会報費	375, 000
総会時寄付金	9, 000	事務局費	88, 565
局振込年会費	225, 000	総会費	160, 915
局振込寄付金	131, 000	印刷費	227, 700
利子・利息	318	交通費	169, 840
銀行振込年会費	7, 000	会議費	28, 669
立替金(バインダー)	297, 000	卒業記念品費	633, 937
		支部活動費	92, 000
		涉外費	84, 898
		機器整備費	158, 555
		(小計)	2, 786, 535
		繰越金	4, 968, 659
合計	7, 755, 194円	合計	7, 755, 194円
次期(平成19年度)	繰越金 4, 968, 659円		

## 平成19年度 予算案

東海大学付属望星高等学校同窓会

平成19年5月27日

収入		支出	
前期繰越金	4, 968, 659円	連合関係費	200, 000円
新会員入会金	1, 214, 000	生徒会関係費	90, 000
新会員年会費	401, 000	通信費	570, 000
局振込年会費	350, 000	会報費	380, 000
利子・利息	1, 000	事務局費	80, 000
		総会費	250, 000
		印刷費	150, 000
		交通費	120, 000
		会議費	35, 000
		卒業記念品費	640, 000
		支部活動費	92, 000
		涉外費	100, 000
		機器整備費	10, 000
		(小計)	2, 717, 000
		繰越金	4, 217, 659
合計	6, 934, 659円	合計	6, 934, 659円

## 平成19年度役員選出

会長	下倉 良次(5期)
副会長	漆谷 憲康(6期) 原澤 純一(9期) 寺林 勝実(29期) 各支部同窓会支部長
書記	田中 美帆(28期) 綾部 晃子(38期) 高橋 謙一(33期)
会計	長南 友行(7期) 柳 麻紀(34期)
事務局長	金谷 義孝(14期)
事務局次長	須永 英典(38期)
◎会報	畠山 勝(16期)
◎広報	時田 早絵(39期) 鈴木 広和(42期)
監査役	清水 庄司(2期) 針替 幸子(27期)

## 平成18年度総会・懇親会収支決算報告

平成18年5月28日 望星高校に於いて

収入 支出  
会費 111, 000円 飲食費他 271, 915円  
(総会費より負担) 160, 916円

上記の決算、厳正なる監査の結果、相違無い事を認めます。

平成18年5月20日

監査役 清水 庄司(2期)、監査役 針替 幸子(27期)